

書類番號

十五丁號

Doc. 15-J

一九四二年(昭和十六年)十二月二十五日  
第一一八號

ハイ登  
東京冠極(秘)

吾々ハ二十五日ニハ合衆國ヨリ回答ヲ得ル旨ト軍  
ヨリ通知サレタル。若シ是ガ眞實ナレバ、勿  
論政府ハ其翌日或ハ其ノ次ノ日以内ニ平和  
カ戦争カラ決定スルコトニナラウ。勿論、若シ  
日米交渉ガ成功裡ニ終レバ、既ニ立テラント計畫  
ニ從ツテ各種ノ企圖ガ着手セラルハ、之ヲ俟タナ  
イコトデアル。

然レ、萬一交渉ガ成功裡ニ終結セヌトアレバ、全  
ク凡テノ戦争準備ハ完備シテ居ル故、吾軍ハ  
其日ノ中ニ行動ヲトルコトモ出まん。

然レ、斯カル状況下ニアツテハ、吾々が従来諸企  
圖ノ為ニテラント計畫ニ若干ノ変更ヲナス必要ガ  
ルカラウ。勿論吾々ハ機關ヲ設ケ、戦争ト衝突  
セザル商議ヲナスベキナル。吾々が最も関心ヲ  
寄セル事柄ハ戦争勃発、曉ニ佛領印度支那

1187

ex

No. 1

Doc / 5-1

政府、能勢、関心限ハ、理下、情勢が維持される  
と云ふ事。吾等此、コトヲ知ラセラル。サライミナ  
出来ル限リ事前ニ決テ、事前準備ヲナシタキ希望故  
ヲ直ニ知ラセテ置コトガ肝要ナルト我々思フ。

若シ日本交渉、結果ニ関シテ何等カ意見ヲ保持スル  
貴下が吾等ニ報知サレバ、賢明ト考へル、他ノ適切な  
情報ト共ニ、夫ヲ吾等所迄通知セシ度。

勿論、私ハ秘密ノ最モ所要ナルコト、知ツテ居ル。新  
聞ノ報道ニ依リ、合衆國、英國、澳洲、和蘭、ソビ  
エトノ代表者サモモ入テ、華府ニ於テ協議ニ在ル。  
然レテ皇等諸國、政府カ日本交渉ニ於テ論議中、  
事柄ヲ現ニ存知セラル。尚、日本駐米使（？）ニミテ  
当地ノ事、其ノ交渉ニ於テ吾等ノ立場ヲ知リ、其  
又上記交渉ノ一般雰囲気ヲモ知ラザル。

外務省概論ナル吾等ニカ、恰モ此ノ場合、除  
外サレタリノ極ニ吾等ハ感シテ居ル。

貴下カ回報米事ニミテ三號中ニ指摘セラレタル如ク情勢  
ノ刻々重大化シテ居ル。又ニ電信スハ特使、皇  
等諸國、就中我等ニ此言ヲ與ヘル手書ヲ送テ置  
テ。

No 2

第五三四號  
一九一六年八月

(四) 海軍雜誌 二一三十一頁三六  
(一三十一)

米十元日附金可能